

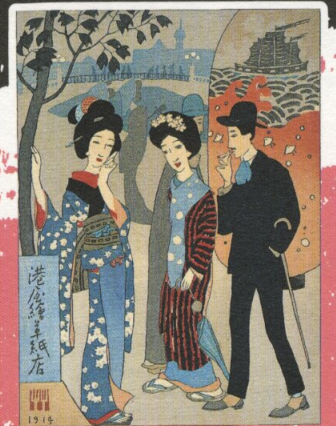
田中恭吉「月映」 IIIより 〈冬蟲夏草〉 1914年
木版 小野忠重版画館蔵

日本の版画



1911-1920

刻まれた「個」の饗宴



竹久夢二〈港屋絵草紙店〉 1914年 木版
千葉市美術館蔵

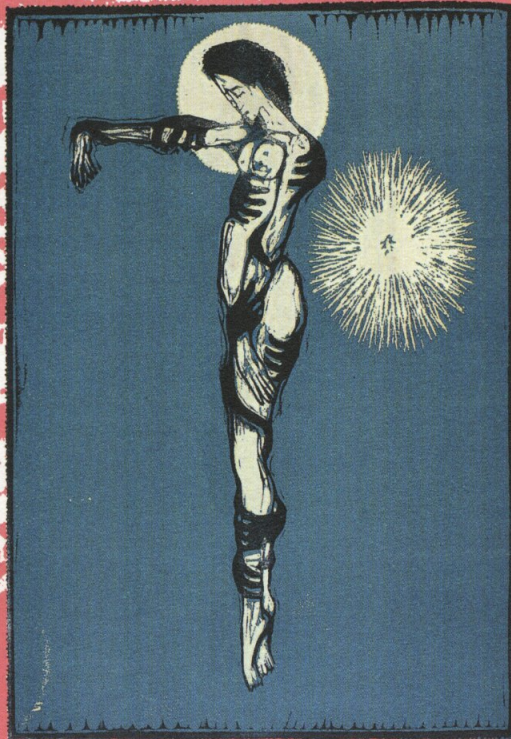


水島関保布「東海道五十三次 附瀬戸内海」より 1920年 木版
個人蔵

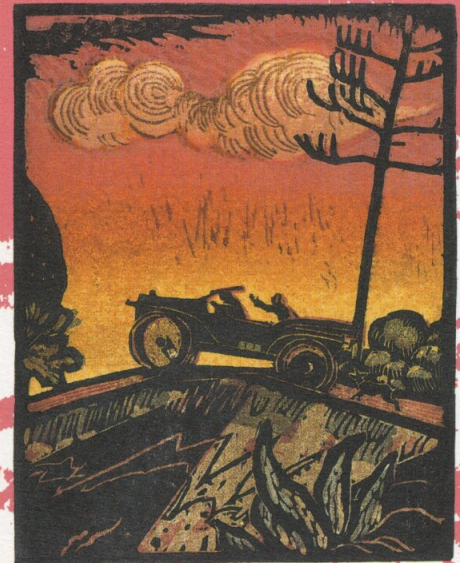
1999年9月21日(火)
→10月24日(日)

休館日=月曜日〔ただし10月11日(火)開館/
翌12日(水)休館〕

開館時間=午前10時→午後6時〔金曜は午後8時まで・
入場は閉館の30分前まで〕



藤森静雄「月映」 IVより 〈亡びゆく肉〉 1915年 木版 小野忠重版画館蔵



広島新太郎「夕暮小景」 1916年頃 木版 千葉市美術館蔵

[交通案内]

- JR総武線千葉駅
- 東口より徒歩約15分
- 京成バス大学病院行(のりば⑦)「大和橋」下車徒歩2分
- 京成バス矢作台市営住宅・川戸行(のりば⑦)あるいは小湊バス八幡宿駅行(のりば④)「広小路」下車徒歩1分
- 千葉都市モノレール県庁前行「葭川公園」下車徒歩5分
- 無料巡回シャトルバス「チーバス」(のりば⑨)「中央区役所・美術館前」下車(11:05~18:35の毎時05分と35分に出発・水曜運休)
- 京成千葉中央駅東口より徒歩約10分

千葉市美術館

千葉市中央区中央3-10-8
NTTハローダイヤル 043-227-8600

主催=千葉市美術館/東京新聞
後援=千葉テレビ放送
協賛=東京海上

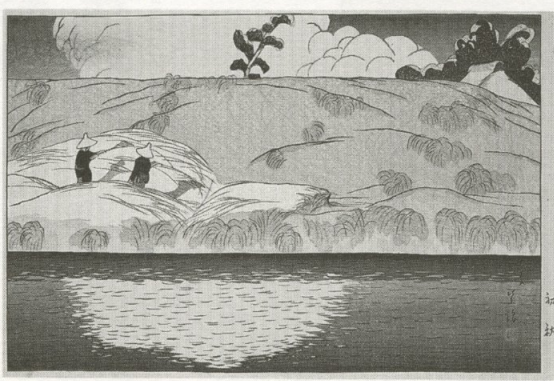
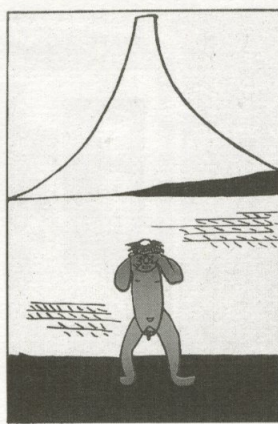
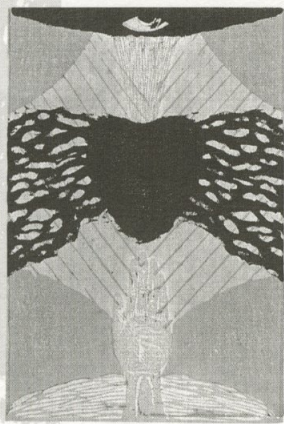
入場料=一般800円(640円)/
大学・高校生560円(450円)/
中・小学生240円(200円)
※()内は団体30名以上および前売料金

日本の版画

II

1911-1920

刻まれた「個」の饗宴



日本の近代版画にとって1910年代とは、1900年代に耕され、種を蒔かれた「版」という分野に、いよいよ豊かな実りの時が訪れた季節にあたります。印刷術と結びつきながら担い手を増やし、表現手段として見いだされつつあった「版」に、より切実で野心に満ちた眼差しが注がれ、時の芸術思潮を色濃く反映した名品の数々が生まれたのです。

彫りや摺りを自ら手がけた作家たちは、表現への衝動を彫刀に託し、版画特有の平面性あるいは抽象性と感情の進りを融合させた、きわめて先鋭的な造形を世に問いました。彫師や摺師を用いた作家たちも新鮮な題材と描法を取り込み、伝統という枠組みを軽々と飛び越えています。また書籍の装幀や広告に現れた版画に眼を向けても、前代よりも「版」であることをはっきりと自覚し、その制約を逆に表現力へと転じるような造形が顕著です。富本憲吉、長谷川潔、恩地孝四郎、山本鼎、橋口五葉、竹久夢二らによる、主観的な感情の発露と版表現の洗練とをあわせ持った鮮烈な作品群は、今もなお私たちを魅了してやみません。

本展は1911(明治44)年から1920(大正9)年までという近代版画の黄金期に焦点をあて、作家の個性が咲き競うその精華を観察し、美術史上にも稀と云ってよい豊穡な時代の意義を検証することを目的としています。1997年秋に開催いたしました「日本の版画Ⅰ・1900-1910・版のかたち百相」に続く第二弾であり、出展作品の約三分の一を千葉市美術館所蔵品により構成します。

※期間中展示替を行います。

千葉市美術館

千葉市中央区中央3-10-8
NTTハローダイヤル 043-227-8600

[ギャラリートーク]

会期中毎週土曜日の午後2時より(計5回)

講師=当館学芸員

7階展示室前にお集まりください

[講演会]

「大正期の版画運動」

10月3日(日)午後2時より当館11階講堂にて・先着150名

講師=岩切信一郎氏(東京文化短期大学助教授)

[同時開催]

「平成11年度 千葉市美術館新収蔵作品展」

9月28日(火)→10月24日(日)

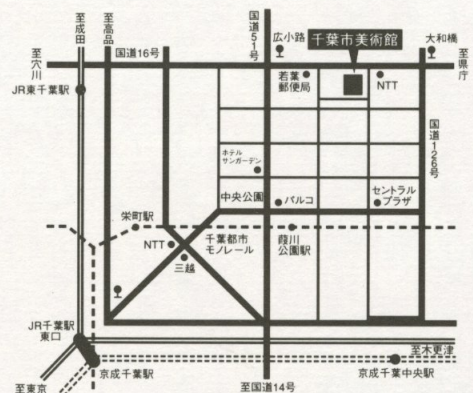
[次回予告]

「房総の神と仏」11月2日(火)→12月12日(日)

[千葉市美術館友の会のご案内]

入会金1,000円、年会費3,000円(一般会員)で1年間何度でも入館、図録の割引購入などの特典がございます。詳細は当館へお問い合わせください。

- 1 富本憲吉「花」 1912年 エッチング 富本憲吉記念館蔵
- 2 永瀬義郎「貌」 1916年 木版 東広島市教育委員会蔵
- 3 恩地孝四郎「月映」 1より「伴病めり」 1914年 木版 須坂版画美術館蔵
- 4 北原白秋「雲母集」挿画 1915年 木版 神奈川近代文学館蔵
- 5 伊東深水「神立前」 1920年 木版 東京国立近代美術館蔵
- 6 長谷川潔「転身の頌」挿画 1917年 木版 千葉市美術館蔵
- 7 笠松紫浪「初秋(綾瀬川)」 1919年 木版 東京国立近代美術館蔵
- 8 橋口五葉「髪束ねる女」 1920年 木版 千葉市美術館蔵
- 9 杉浦非水「星製菓」 1914年 石版 東京国立近代美術館工芸館蔵



[交通案内]

- JR総武線千葉駅
- 東口より徒歩約15分
- 京成バス大学病院行(のりば⑦)「大和橋」下車徒歩2分
- 京成バス矢作台市営住宅・川戸行(のりば⑦)あるいは小湊バス八幡宿駅行(のりば④)「広小路」下車徒歩1分
- 千葉都市モノレール県庁前行「霞川公園」下車徒歩5分
- 無料巡回シャトルバス「チーバス」(のりば⑨)「中央区役所・美術館前」下車(11:05~18:35の毎時05分と35分に発車・水曜運休)
- 京成千葉中央駅東口より徒歩約10分